

会議録

令和8年8月19日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会令和8年度第3回定例会
開催日時	令和8年7月15日(水)午後6時30分から午後8時まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、澤井稔、小林資郷、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、鈴木明美、小林大介、ギログリー江美、荒井容子、坂内夏子 事務局：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、岡本分館長(芝久保)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)、山本事業係主査
欠席者	山本分館長(田無)
議 題	1 審議事項 (1) 令和8年度第1回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和8年度第2回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和8年度公民館主催事業計画について(資料2) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室会議報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和7年度公民館事業評価について (2) その他 令和8年度第1回利用者懇談会について (3) 令和8年度第4回定例会の開催について
資 料	【配付資料】 資料1 令和8年度第1回定例会会議録(案) 資料2 令和8年度公民館主催事業計画書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(1名) ☐ なし
会議内容	
1 審議事項 (1) 令和8年度第1回定例会会議録について(資料1) ○A委員 事前にメールで2か所を修正依頼済み。 ○事業係長 指摘された2か所を反映させた会議録(案)を次回の定例会でお示しする。 (2) 令和8年度第2回定例会会議録(案)について ●令和8年度第2回定例会会議録(案)については、修正点・意見などあれば、1週間以内に事務局へ連絡すること。 2 主催事業について ○公民館長 前回定例会で田無公民館の令和7年度事業報告書について委員より指摘があった点について修正し机上配布している。	

(1)令和8年度公民館主催事業計画について（資料2）

○B委員

ピックアップした公民館主催事業計画について説明をお願いします。

○事業係長

地域づくりを考える講座 心に届く文章を生み出すには～頭の中のもやもやを言葉にする方法～（柳沢）について、これまでと趣向を変え、「思い思いに生きる個人によって結果的に地域がつくられていく」という視点に立ち、個人が思いを表現することを学ぶ文章講座という体裁を取った。文章のテーマを、まちや市内のスポットにすることで、参加者それぞれの地域観が集まり、それを読み合うことで地域について考えるきっかけとすることを目的とする。またヤギフェスで展示することで、地域の人たちとも共有したい。地域で活躍する方たちを講師に招き、地域活動について学ぶ去年までの講座になかなか人が集まらなくなっている実情も踏まえ、この新しい企画に挑戦した。

○分館長（芝久保）

子ども体験講座アフリカの民族楽器『カリンバ』を作ろう♪（芝久保）について、身近な材料で、指先・感覚を用い、考え・工夫し、自分のオリジナルの「ものづくり」の体験となるよう、芝久保公民館で活動している木工のサークルと相談するなかで、本年度はサッカーのワールドカップもあり、子どもたちに世界を知ってもらう機会にもできればと、2日間で東アフリカの民族楽器カリンバの作成に取り組むとともに、東アフリカの人々の暮らしを学ぶ講座とする。作成したカリンバで音を出し、オリジナルの曲を演奏し合ったり、お互いのデザインを鑑賞し合ったりし、作成や演奏を通して、交流を深める。

○分館長（保谷駅前）

人権講座多様性を大切にする社会に向けて～配慮あるコミュニケーション～（保谷駅前）について、前回のアイヌのルーツやスウェーデンに関する学び、高齢社会における正しい理解の重要性を伝える受講後のアンケート結果を踏まえ、今年度は、フィンランドの生活様式や難聴者・弱視者への理解、無意識の偏見について学び、互いの多様性を尊重し合う共生社会の実現を考える講座としている。また、耳に優しいコミュニケーションや見えにくさを変える工夫などの疑似体験を通じ、公平な視点を養い自身の生きやすさにもつながる社会の在り方も再認識する。

○C委員

3つの保育あり事業について、それぞれ育児中のお母さんに響く内容になっており、有意義な講座になるのではと期待している。自分の職場に貼られる公民館講座のポスターが、他のものに比べて地味に感じるので、「母も学び子も学ぶ公民館講座」というような公民館っていいよということが伝わる目立つ派手なポスターを作っていただき、そこに続けて各公民館の講座ポスターを貼るとよいのではと思う。まずは、子育て中の女性のための講座（保育あり）あたり前の大切さに目を向けよう～食の楽しさを知ってにこにこ子育て～（谷戸）について、出産時の感情や子育ての身近な食事や排泄の悩みを語る内容で、最後の保育報告だけでなく保育の中間報告もあるのもいい。次に、乳幼児をもつ母親のための講座（保育あり）ヨガとコーチングでつける自己肯定グセ（柳沢）について、最初の保育説明会と最後の保育報告があるが、できればやり方を工夫して長い講座の間にも保育報告を入れられるとなおよいと思う。親の学習が保育室での成長の変化とリンクできるとよりよいかなと思う。また、身近な問題を考える講座（保育あり）ノンバーバルコミュニケーションで見つける！あたらしい自分（芝久保）について、子どもとのかかわりが、このノンバーバルコミュニケーション（言葉以外の表情やジェスチャーで感情を伝える）を取り入れると、もっと楽しくなるというような広報の工夫があるといいと思う。耳の不自由なお子さんの受け入れは可能か。この講座の内容はそうしたお子さんを抱えているお母さんも受けるといいのではと思った。

○公民館長

ポスター掲示の工夫等について検討したいと思う。

○A委員

地域づくりを考える講座（柳沢）について、20年ぐらい前の公民館の実践などがあり、自

分の暮らしを書くことが自分の生き方につながっていく、ちょっとしたことを講座通信に書いて交流し始めていくうちに参加した人達が深く知り合っていくというのがあり、地域を一人ひとりの中からつくっていくといういい流れだなと思った。また、子ども体験講座（芝久保）について、空き缶で作った手作り楽器で演奏する映画「ベンダ・ビリリ！」を観ておくと、講座中に面白い情報提供ができると思う。次に子育て中の女性のための講座（谷戸）について、子育ての方法を学ぶというイメージを少し持った。乳幼児健診・乳幼児講座などでも伝えていることなのではと少し感じた。講座・保育と違った要素は入ってくるとは思うがいかがか。

○D委員

子ども体験講座（芝久保）について、子ども中心にものを作るのはとてもいい。あえて西洋音楽のチューニングはしないとあり、最後に発表会とあるがどのような音楽を奏でるのか。

○分館長（芝久保）

子ども体験講座（芝久保）について、講師が部族ごとのアフリカの音階でのチューニングができるということではなく、既存の曲を演奏するということでもなく、子どもたちそれぞれが奏でるものが、自分の音楽という発表会である。あなたの作ったものが世界で一つのオリジナルのもので、それが素晴らしいというのをお互いに持ち合いたいということである。

○E委員

身近な問題を考える講座（保育あり）（芝久保）について、非言語の表情・視線・姿勢・動作などで気持ちを表現し伝えることをノンバーバルコミュニケーションというのであって、聴覚障害者にとって手話は主言語なので、手話をノンバーバルコミュニケーションとして講座で位置付けているのは違うのではないか。不快に思う人がいるかもしれないので念のため伝えておく。

○分館長（芝久保）

身近な問題を考える講座（保育あり）（芝久保）について、手話は言語でありバーバルである。手話歌で手を使ったり表情を使ったりすることで、表現が豊かになる。耳の不自由なお子さんのお母さんが講座に参加されれば、今まで以上により表現豊かにお子さんに気持ちなどを伝えることができるようになるかもしれない。タイトルに「あたらしい自分」とつけ、自分が言葉以外に発しているものを知り、自分を知り、自分を理解し、言葉以外にも表現をしていく幅を広げていきたい、そしてつながりが広がっていくことを意図している。

○C委員

ここで初めて知ったノンバーバルコミュニケーションというのは、日本でいうわらべうたにも通じるものがあるのかなと感じた。先ほどの委員から大事な指摘もあったと思うので、手話を使っている人たちにも敬意を示した形で進めていってほしい。

○F委員

乳幼児をもつ母親のための講座（保育あり）ヨガとコーチングでつける自己肯定グセ（柳沢）について、ヨガで心と体を整えた後にそのまま勉強をすると効果があるという形はよくあると思うが、ヨガの日と勉強をする日が分かれていて、ヨガを4週間した後に、分けて学びをするというのがどのように出るか興味深い。最後に発表会とあるが、自分を見つめるという内容でもあると思うので、発表会という外に見せることにこだわり過ぎないで進めることも大事にしていただければと思う。また、子育て中の女性のための講座（保育あり）（谷戸）について、加工食品診断士というのはどういう内容なのか。

○分館長（谷戸）

加工食品診断士は、令和6年度田無公民館講座と同じ講師で、どのような内容の添加物なのか種類や役割、食品表示について教えてください、実験も行ってくれる。事業計画書中の3か所、「作る」は、「創る」に訂正をお願いします。

○A委員

身近な問題を考える講座（保育あり）（芝久保）について、「手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）が施行され」とあり、人権講座（保谷駅前）の中身とすぐ関係すると思う。せつかくなら、聞こえない・聞こえにくい親をもつ、聞こえる子どもが小

さいころから親の通訳者となっていて、コーダと呼ばれており、家族の中でただ一人の健聴者が自分の夢を見つけ大人へと成長していく映画「Coda コーダ あいのうた」など、触れられるとよいと思う。次に、くらしを彩る講習会メディカルハーブのある暮らし～お気に入りのハーブティーとポプリをつくる～（谷戸）について、今回は講師が過去に不登校になった時の気持ちや苦悩について話してもらい、その後、心理学を学んだこと、ハーブの癒し効果に出会うまでの経緯などを参加者と共有するという事で、バージョンアップした内容になると思った。

○分館長（保谷駅前）

子どもなのに、家族の「通訳」「代弁者」として大きな責任を負いやすい。人権の視点が深く関わっている大事な部分なので、その点についても講師と話してみたいと思う。

○G委員

私はひばりが丘公民館で活動している手話歌サークルに入っているが、身近な問題を考える講座（保育あり）（芝久保）の事業目的や事業目的達成のための課題・取組の欄に書かれている内容が盛りだくさんなのと、飛躍しすぎていると感じる部分もある。手話とどういう関係があるのかと感じた部分もあり、何を学ばせたいのかわからなくなったと感じた。事業概要に、「言葉によらない、表情や視線、動作などによるノンバーバルコミュニケーションによって相手に向き合って自分を伝えることを学び、これまでと違う感性にふれることで新しい気づきを得る。また、手話歌を仲間と経験し、手話に興味を持つきっかけや繋がり作りとする。」とあり、これに沿って事業に取り組むと理解をした。次に、高齢者の課題を考える講座アクティブシニアのライフスタイルを考える～自分史づくりで自分らしさ再発見～（ひばりが丘）について、アクティブシニアをターゲットにしているなら平日の午後は参加しにくいのではないか、この層は公民館にアプローチしづらいのではないか、もっと年齢の上の層をターゲットにしているのか。

○事業係長

前回（2年前）の講座では、「アクティブシニア」という言葉に反響があった。50歳代後半から70歳代を「アクティブシニア」と講師は定義しているが、70歳前後の元気だが地域のどこに出でいったらいいかわからないという方たちが多く参加した。今回もそれを踏まえこの事業名としている。前は7割が女性だったため、男性に来てもらうのはなかなか難しいのではないかなと思うが、少しでも届いて来てもらいたいと考えている。また、前回の講座からはサークルが立ち上がっており、講演や外出など本格的に活動を行っている。

○C委員

出来上がった自分史を最後にみんなの前で発表する形になっているが、かなりハードルが高いのではないかな。

○事業係長

3回目までに自分史の大半部分を書き、4回目に「人生100年これからゲーム」と「私の人生ノート」という、参加者がコミュニケーションを取りながら懇親を深められる回を挟むことで、お互いを知り、そのハードルを少しでも下げて5回目の発表につなげたいと考えている。

3 報告事項

(1)行政報告

○公民館長

7月1日付で7名の公民館保育員を採用し、柳沢公民館7名、他の公民館は各6名となり欠員を補充できた。

(2)公民館だより編集室会議報告

●担当委員から公民館だより編集室会議について報告

(3)東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

●担当委員から東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会について報告

4年に1回の都公連加盟市の実態を調査しており、追加項目等を検討している。

10月24日(土)午後から委員部会研修が実施される。狛江市こまえみらいテラス(中央公民館)において、中高生や若者の居場所としての公民館活用をテーマにグループワークを中心とした研修会となる。福生市ジュニア社会教育士やティーンズルームを運営しているNPO法人かたりば及び西東京市在住の小野修平氏に事例発表をしてもらう。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和7年度公民館事業評価について

○事業係長

前回示した4つのテーマごとの事業評価表の一次評価欄を埋めたものを、来月8月の定例会で配付し、公運審による二次評価に取り掛かっていただく予定。一次評価作成にあたっては7月27日に専門員も含め職員全員が集まって、テーマごとに事業概要や参加者の感想や担当者の考察などを伝え合い、それらをまとめた形で作成する予定。前回の定例会を欠席された方には、事業評価に関する話し合いの経緯がわかるよう議事録に記載しているので、ご一読をお願いしたい。

○A委員

資料をよく読んでから改めて建設的な意見を述べられればと思う。

○H委員

私は昨年までの評価も結構気に入っていたが、前回の定例会の議事録を読み、事業評価をどうしていくか話し合うこと自体が良いことだと感じた。職員が頑張っていることが伝えられる新しい評価表になり、これまでも職員が一次評価で「B」にしたものを公運審の二次評価で「A」にしたものもあり、それは職員にとってもとても励みになることだと思う。こういうところがよかったからA評価にしたと、新しくなった事業評価表では文章で伝えられるのもいい点で、逆にBだったところはこういったところがさらに充実するとよいということなども文章で伝えられるのもよいと思う。

○I委員

日頃から西東京市公民館事業は事業計画の時からよく練られて、いい講座を作っているなと思っている。講座をやって終わりではなく次につなげていくように丁寧に取り組まれているなと感じており、それを事業評価にも反映させていけたらと思う。

(2) その他

令和8年度第1回利用者懇談会について

○分館長(保谷駅前)

各公民館利用者懇談会の実施日程表をお配りする。各委員が参加できる日の連絡をメールにていただきたい。

(3) 令和8年度第4回定例会の開催について

日時：令和8年8月19日(水) 午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室